

# 分配算の基本練習

－標準その1－

氏名 ( )

- ① A, B, C 3つの数があります。AとBとCの和は112で、AはCの4倍、BはCの2倍です。  
このとき、Aは ( )、Bは ( )、Cは ( ) です。
- ② A, B, C 3つの数があります。AとBとCの和は100で、AはCの4倍より5大きく、BはCの2倍より4大きいです。  
このとき、Aは ( )、Bは ( )、Cは ( ) です。
- ③ A, B, C 3つの数があります。AとBとCの和は244で、AはCの3倍より4大きく、BはCの5倍より3小さいです。  
このとき、Aは ( )、Bは ( )、Cは ( ) です。
- ④ A, B, C 3つの数があります。AとBとCの和は560で、AはBの4倍、BはCの3倍です。  
このとき、Aは ( )、Bは ( )、Cは ( ) です。
- ⑤ A, B, C 3つの数があります。AとBとCの和は350で、AはBの3倍より19小さく、BはCの2倍です。  
このとき、Aは ( )、Bは ( )、Cは ( ) です。
- ⑥ A, B, C 3人が持っているお金の合計は960円です。AがBに30円渡し、BがCに35円渡し、CがAに50円渡したところ、3人が持っているお金は等しくなりました。  
はじめにAは ( ) 円、Bは ( ) 円、Cは ( ) 円持っていました。

# 分配算の基本練習

－標準その2－

氏名 ( )

① A, B, C 3つの数があります。AとBとCの和は144で、AはCの2倍、BはCの3倍です。  
このとき、Aは ( )、Bは ( )、Cは ( ) です。

② A, B, C 3つの数があります。AとBとCの和は264で、AはCの5倍より2大きく、BはCの3倍より1大きいです。  
このとき、Aは ( )、Bは ( )、Cは ( ) です。

③ A, B, C 3つの数があります。AとBとCの和は224で、AはCの4倍より4大きく、BはCの2倍より4小さいです。  
このとき、Aは ( )、Bは ( )、Cは ( ) です。

④ A, B, C 3つの数があります。AとBとCの和は280で、AはBの2倍、BはCの3倍です。  
このとき、Aは ( )、Bは ( )、Cは ( ) です。

⑤ A, B, C 3つの数があります。AとBとCの和は303で、AはBの2倍より7小さく、BはCの3倍です。  
このとき、Aは ( )、Bは ( )、Cは ( ) です。

⑥ A, B, C 3人が持っているお金の合計は660円です。AがBに20円渡し、BがCに45円渡し、CがAに15円渡したところ、3人が持っているお金は等しくなりました。  
はじめにAは ( ) 円、Bは ( ) 円、Cは ( ) 円持っていました。

# 分配算の基本練習

－標準その3－

氏名 ( )

- ① A, B, C 3つの数があります。AとBとCの和は198で、AはCの5倍、BはCの3倍です。  
このとき、Aは ( )、Bは ( )、Cは ( ) です。
- ② A, B, C 3つの数があります。AとBとCの和は285で、AはCの2倍より8大きく、BはCの3倍より1大きいです。  
このとき、Aは ( )、Bは ( )、Cは ( ) です。
- ③ A, B, C 3つの数があります。AとBとCの和は183で、AはCの9倍より6大きく、BはCの2倍より3小さいです。  
このとき、Aは ( )、Bは ( )、Cは ( ) です。
- ④ A, B, C 3つの数があります。AとBとCの和は550で、AはBの5倍、BはCの4倍です。  
このとき、Aは ( )、Bは ( )、Cは ( ) です。
- ⑤ A, B, C 3つの数があります。AとBとCの和は142で、AはBの2倍より28小さく、BはCの3倍です。  
このとき、Aは ( )、Bは ( )、Cは ( ) です。
- ⑥ A, B, C 3人が持っているお金の合計は270円です。AがBに10円渡し、BがCに8円渡し、CがAに12円渡したところ、3人が持っているお金は等しくなりました。  
はじめにAは ( ) 円、Bは ( ) 円、Cは ( ) 円持っていました。

## 分配算の基本練習

—標準その1・解答—

- ① A, B, C 3つの数があります。AとBとCの和は112で、AはCの4倍、BはCの2倍です。  
このとき、Aは ( 64 ), Bは ( 32 ), Cは ( 16 ) です。
- ② A, B, C 3つの数があります。AとBとCの和は100で、AはCの4倍より5大きく、BはCの2倍より4大きいです。  
このとき、Aは ( 57 ), Bは ( 30 ), Cは ( 13 ) です。
- ③ A, B, C 3つの数があります。AとBとCの和は244で、AはCの3倍より4大きく、BはCの5倍より3小さいです。  
このとき、Aは ( 85 ), Bは ( 132 ), Cは ( 27 ) です。
- ④ A, B, C 3つの数があります。AとBとCの和は560で、AはBの4倍、BはCの3倍です。  
このとき、Aは ( 420 ), Bは ( 105 ), Cは ( 35 ) です。
- ⑤ A, B, C 3つの数があります。AとBとCの和は350で、AはBの3倍より19小さく、BはCの2倍です。  
このとき、Aは ( 227 ), Bは ( 82 ), Cは ( 41 ) です。
- ⑥ A, B, C 3人が持っているお金の合計は960円です。AがBに30円渡し、BがCに35円渡し、CがAに50円渡したところ、3人が持っているお金は等しくなりました。  
はじめにAは ( 300 ) 円、Bは ( 325 ) 円、Cは ( 335 ) 円持っていました。

## 分配算の基本練習

—標準その2・解答—

① A, B, C 3つの数があります。AとBとCの和は144で、AはCの2倍、BはCの3倍です。  
このとき、Aは ( 48 ), Bは ( 72 ), Cは ( 24 ) です。

② A, B, C 3つの数があります。AとBとCの和は264で、AはCの5倍より2大きく、BはCの3倍より1大きいです。  
このとき、Aは ( 147 ), Bは ( 88 ), Cは ( 29 ) です。

③ A, B, C 3つの数があります。AとBとCの和は224で、AはCの4倍より4大きく、BはCの2倍より4小さいです。  
このとき、Aは ( 132 ), Bは ( 60 ), Cは ( 32 ) です。

④ A, B, C 3つの数があります。AとBとCの和は280で、AはBの2倍、BはCの3倍です。  
このとき、Aは ( 168 ), Bは ( 84 ), Cは ( 28 ) です。

⑤ A, B, C 3つの数があります。AとBとCの和は303で、AはBの2倍より7小さく、BはCの3倍です。  
このとき、Aは ( 179 ), Bは ( 93 ), Cは ( 31 ) です。

⑥ A, B, C 3人が持っているお金の合計は660円です。AがBに20円渡し、BがCに45円渡し、CがAに15円渡したところ、3人が持っているお金は等しくなりました。  
はじめにAは ( 225 ) 円、Bは ( 245 ) 円、Cは ( 190 ) 円持っていました。

## 分配算の基本練習

—標準その3・解答—

- ① A, B, C 3つの数があります。AとBとCの和は198で、AはCの5倍、BはCの3倍です。  
このとき、Aは ( 110 ), Bは ( 66 ), Cは ( 22 ) です。
- ② A, B, C 3つの数があります。AとBとCの和は285で、AはCの2倍より8大きく、BはCの3倍より1大きいです。  
このとき、Aは ( 100 ), Bは ( 139 ), Cは ( 46 ) です。
- ③ A, B, C 3つの数があります。AとBとCの和は183で、AはCの9倍より6大きく、BはCの2倍より3小さいです。  
このとき、Aは ( 141 ), Bは ( 27 ), Cは ( 15 ) です。
- ④ A, B, C 3つの数があります。AとBとCの和は550で、AはBの5倍、BはCの4倍です。  
このとき、Aは ( 440 ), Bは ( 88 ), Cは ( 22 ) です。
- ⑤ A, B, C 3つの数があります。AとBとCの和は142で、AはBの2倍より28小さく、BはCの3倍です。  
このとき、Aは ( 74 ), Bは ( 51 ), Cは ( 17 ) です。
- ⑥ A, B, C 3人が持っているお金の合計は270円です。AがBに10円渡し、BがCに8円渡し、CがAに12円渡したところ、3人が持っているお金は等しくなりました。  
はじめにAは ( 88 ) 円、Bは ( 88 ) 円、Cは ( 94 ) 円持っていました。

# 分配算の基本練習

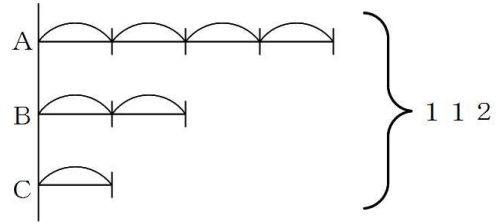
—標準その1・解説—

① 112が、 $4 + 2 + 1 = 7$  (山) ぶんになる。

$$112 \div 7 = 16 \quad \dots \quad 1 \text{山あたり} = C$$

Aは4山なので、 $16 \times 4 = 64$

Bは2山なので、 $16 \times 2 = 32$

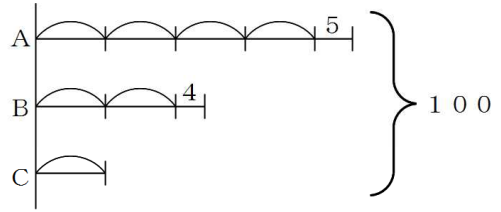


②  $100 - 5 - 4 = 91$  が、 $4 + 2 + 1 = 7$  (山)。

$$91 \div 7 = 13 \quad \dots \quad 1 \text{山あたり} = C$$

Aは4山+5なので、 $13 \times 4 + 5 = 57$

Bは2山+4なので、 $13 \times 2 + 4 = 30$

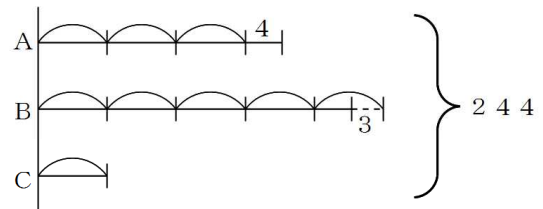


③  $244 - 4 + 3 = 243$  が、 $3 + 5 + 1 = 9$  (山)。

$$243 \div 9 = 27 \quad \dots \quad 1 \text{山あたり} = C$$

Aは3山+4なので、 $27 \times 3 + 4 = 85$

Bは5山-3なので、 $27 \times 5 - 3 = 132$



④ Cを1山とする。

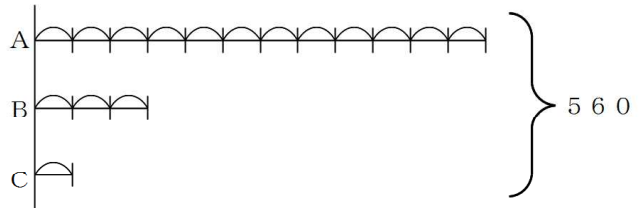
BはCの3倍だから、3山。

AはBの4倍だから、 $3 \times 4 = 12$  (山)。

560が、 $1 + 3 + 12 = 16$  (山)。

$560 \div 16 = 35 \quad \dots \quad 1 \text{山あたり} = C$

Aは12山なので、 $35 \times 12 = 420$ 。Bは3山なので、 $35 \times 3 = 105$ 。



⑤ Cを1山とすると、Bは2山。

AはBの3倍ちょうどなら、 $2 \times 3 = 6$  (山)。

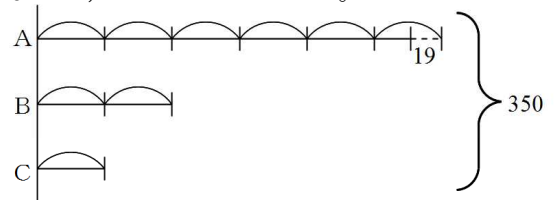
実際のAは、6山より19小さい。

$350 + 19 = 369$  が、 $6 + 2 + 1 = 9$  (山)。

$369 \div 9 = 41 \quad \dots \quad 1 \text{山あたり} = C$

Aは6山-19なので、 $41 \times 6 - 19 = 227$ 。

Bは2山なので、 $41 \times 2 = 82$ 。

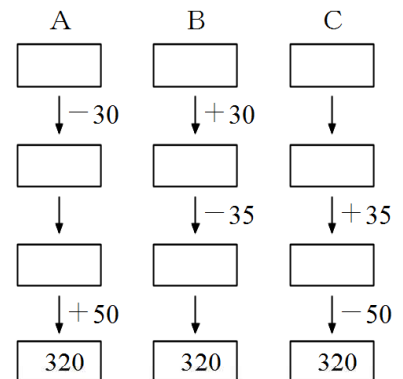


⑥ さいごには、1人あたり  $960 \div 3 = 320$  (円) になった。

はじめのA - 30 + 50 = 320 だから、はじめのA = 300。

はじめのB + 30 - 35 = 320 だから、はじめのB = 325。

はじめのC + 35 - 50 = 320 だから、はじめのC = 335。



# 分配算の基本練習

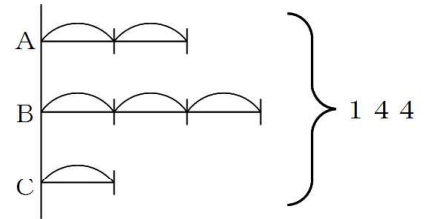
—標準その2・解説—

- ① 144が、 $2 + 3 + 1 = 6$  (山) ぶんになる。

$$144 \div 6 = 24 \quad \dots \quad 1 \text{山あたり} = C$$

$$A \text{は} 2 \text{山なので, } 24 \times 2 = 48$$

$$B \text{は} 3 \text{山なので, } 24 \times 3 = 72$$

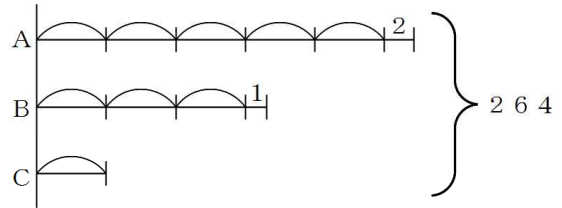


- ②  $264 - 2 - 1 = 261$  が、 $5 + 3 + 1 = 9$  (山)。

$$261 \div 9 = 29 \quad \dots \quad 1 \text{山あたり} = C$$

$$A \text{は} 5 \text{山} + 2 \text{なので, } 29 \times 5 + 2 = 147$$

$$B \text{は} 3 \text{山} + 1 \text{なので, } 29 \times 3 + 1 = 88$$

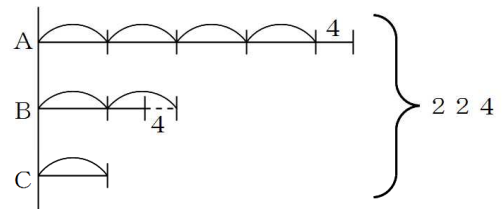


- ③  $224 - 4 + 4 = 224$  が、 $4 + 2 + 1 = 7$  (山)。

$$224 \div 7 = 32 \quad \dots \quad 1 \text{山あたり} = C$$

$$A \text{は} 4 \text{山} + 4 \text{なので, } 32 \times 4 + 4 = 132$$

$$B \text{は} 2 \text{山} - 4 \text{なので, } 32 \times 2 - 4 = 60$$



- ④ Cを1山とする。

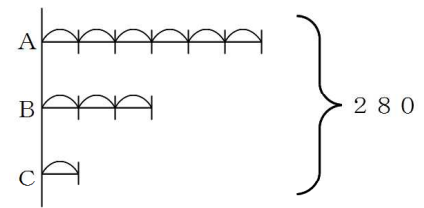
BはCの3倍だから、3山。

AはBの2倍だから、 $3 \times 2 = 6$  (山)。

280が、 $6 + 3 + 1 = 10$  (山)。

$$280 \div 10 = 28 \quad \dots \quad 1 \text{山あたり} = C$$

Aは6山なので、 $28 \times 6 = 168$ 。Bは3山なので、 $28 \times 3 = 84$ 。



- ⑤ Cを1山とすると、Bは3山。

AはBの2倍ちょうどなら、 $3 \times 2 = 6$  (山)。

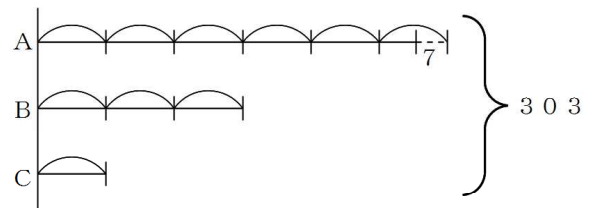
実際のAは、6山より7小さい。

$303 + 7 = 310$  が、 $6 + 3 + 1 = 10$  (山)。

$$310 \div 10 = 31 \quad \dots \quad 1 \text{山あたり} = C$$

Aは6山-7なので、 $31 \times 6 - 7 = 179$ 。

Bは3山なので、 $31 \times 3 = 93$ 。

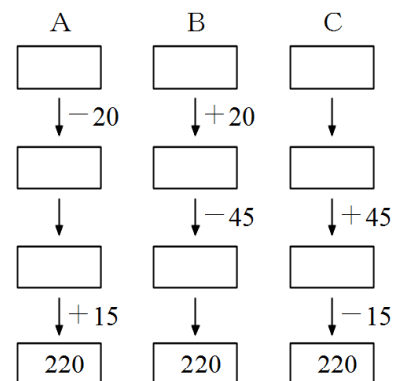


- ⑥ さいごには、1人あたり  $660 \div 3 = 220$  (円) になった。

はじめのA  $-20 + 15 = 220$  だから、はじめのA = 225。

はじめのB  $+20 - 45 = 220$  だから、はじめのB = 245。

はじめのC  $+45 - 15 = 220$  だから、はじめのC = 190。





# 分配算の基本練習

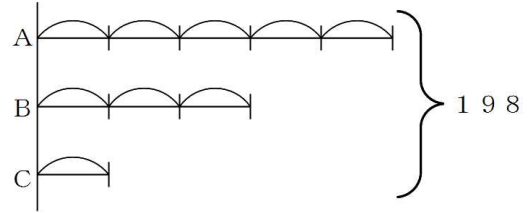
—標準その3・解説—

- ① 198が、 $5 + 3 + 1 = 9$  (山) ぶんになる。

$$198 \div 9 = 22 \quad \dots \quad 1 \text{山あたり} = C$$

$$A \text{は} 5 \text{山なので, } 22 \times 5 = 110$$

$$B \text{は} 3 \text{山なので, } 22 \times 3 = 66$$

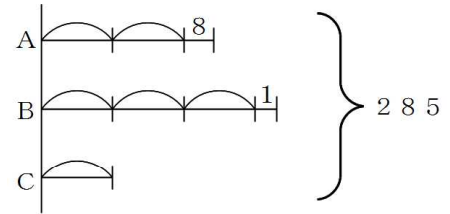


- ②  $285 - 8 - 1 = 276$  が、 $2 + 3 + 1 = 6$  (山)。

$$276 \div 6 = 46 \quad \dots \quad 1 \text{山あたり} = C$$

$$A \text{は} 2 \text{山} + 8 \text{なので, } 46 \times 2 + 8 = 100$$

$$B \text{は} 3 \text{山} + 1 \text{なので, } 46 \times 3 + 1 = 139$$

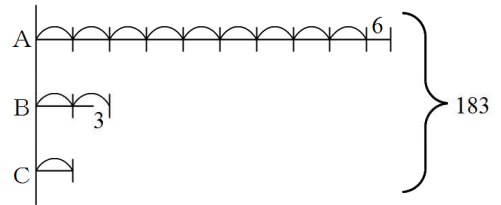


- ③  $183 - 6 + 3 = 180$  が、 $9 + 2 + 1 = 12$  (山)。

$$180 \div 12 = 15 \quad \dots \quad 1 \text{山あたり} = C$$

$$A \text{は} 9 \text{山} + 6 \text{なので, } 15 \times 9 + 6 = 141$$

$$B \text{は} 2 \text{山} - 3 \text{なので, } 15 \times 2 - 3 = 27$$



- ④ Cを1山とする。

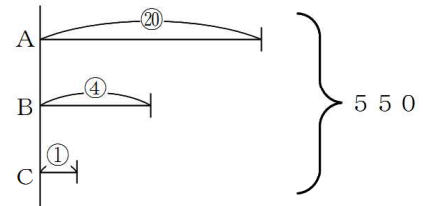
BはCの4倍だから、4山。

AはBの5倍だから、 $4 \times 5 = 20$  (山)。

550が、 $20 + 4 + 1 = 25$  (山)。

$$550 \div 25 = 22 \quad \dots \quad 1 \text{山あたり} = C$$

Aは20山なので、 $22 \times 20 = 440$ 。Bは4山なので、 $22 \times 4 = 88$ 。



- ⑤ Cを1山とすると、Bは3山。

AはBの2倍ちょうどなら、 $3 \times 2 = 6$  (山)。

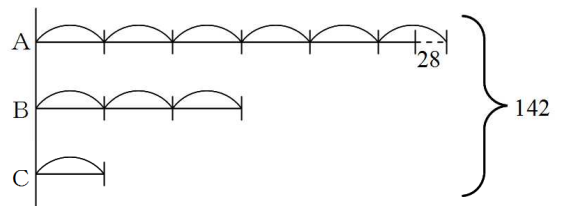
実際のAは、6山より28小さい。

$142 + 28 = 170$  が、 $6 + 3 + 1 = 10$  (山)。

$$170 \div 10 = 17 \quad \dots \quad 1 \text{山あたり} = C$$

Aは6山-28なので、 $17 \times 6 - 28 = 74$ 。

Bは3山なので、 $17 \times 3 = 51$ 。



- ⑥ さいごには、1人あたり  $270 \div 3 = 90$  (円) になった。

はじめのA-10+12=90だから、はじめのA=88。

はじめのB+10-8=90だから、はじめのB=88。

はじめのC+8-12=90だから、はじめのC=94。

A	B	C
□	□	□
↓ -10	↓ +10	↓
□	□	□
↓	↓ -8	↓ +8
□	□	□
↓ +12	↓	↓ -12
90	90	90